

## 経営層からのメッセージ



### 「社会に役立つ企業」であり続けるために 継続的な検証加え変化に対応

2015年、「大手金融機関は社会の役に全く立っていないのではないか？」という内容の書籍が海外で出版され、大きな反響を呼びました。

私たちは、多様なステークホルダーの皆様の期待に応えていくために、どのように行動していくべきか、常に検証を加えていくべきであることを改めて認識しています。

2014年度、私たちの社会的責任に関する15のマテリアリティ(重要側面)を特定しました。さまざまなステークホルダーの皆様に「大和証券グループは社会の役に立っている」と認識していただくためには、どれも重要なポイントであると私たちは考えます。引き続き、積極的に取り組んでいきます。

一方で、今日、AI(人工知能)に代表されるテクノロジーの進歩と社会情勢の変化は、私たち金融機関のビジネスモデルに大きな変革を迫っています。この大きな流れへの対応は、大和証券グループにとって、大きなビジネスチャンスである一方、株主の皆様への適正な利益の確保と、その他のステークホルダーの皆様のご期待に応えることの両立という面で新たな課題を生む可能性があります。私たちのマテリアリティについても大きく進化させる必要があるかもしれません。

当社グループには、創業来110年を超える歴史があります。それは、自らの社会的役割を自覚しつつ、自ら変革を実行した歴史であると自負しています。私たちは、ステークホルダーの皆様と、「私たちが果たすべき役割は何か?」「私たちはそれを果たしているか?」について、継続的な検証を加え、大きな変化の時代に対応していきたいと考えています。